

大学等名	松江工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校、東京工業高等専門学校、広島商船高等専門学校
整理番号	4076
テーマ番号	4
テーマ名	持続可能な社会につながる環境教育の推進
取組名称	高専間連携を活用した体験型環境教育の推進－持続可能な環境社会を担うエンジニア育成のための体験型教育プロジェクト
取組担当者名	東原 哲男
(取組の概要)	<p>申請プロジェクトは、学生の環境に対する意識を向上させると共に実践的知識を賦与し、社会の持続的発展に向けての創造的発想を育む高度な環境教育の実施を目的とする。申請プロジェクトは3つの取組から構成される。第1は、松江高専及び広島商船高専が全国の高等専門学校に先駆けて取得したISO14001における環境マネジメントシステムをベースに全国的な高専間連携を形成し、4高専が中心となって新たな環境教育の方法を構築し、実践すること、第2は、申請校で全学年を対象とした環境技術に関する体験型講座を開講し、環境問題の重要性を常に意識できるエンジニア育成を行うこと、第3は、高専が特長とする実践的卒業研究及び専攻科特別研究の中に環境問題からのニーズに応える環境技術開発を組み込み、環境教育の活性化と高度化を推進することである。最終的には3つの取組を融合しつつ、その一部を社会人育成にも活かし、総合的かつ先進的な教育を推進する。</p>

(選定理由)

本取組は、松江高専及び広島商船高専が取得した ISO14001 における環境マネジメントシステムをベースに新たな環境教育方法を開発する取組及び環境課題に対して定量的に学び、提案する力を付けるための実践的な環境技術体験型講座の導入を図るなど総合的な環境教育の実現をめざしており、松江高専ほかのこれまでの環境教育に対するこれまでの実績を踏まえ、その教育的効果の向上を意図するものです。

更に、松江高専の環境センターを中心に、各校が連携する環境ネットワーク委員(仮称)による環境会議の実施、IT 技術を用いたインターネット公開講座など、環境エンジニア育成のための教育プログラムの独自性、実効性が期待されます。

取組の実施にあたっては、環境教育の質の向上及び社会のニーズに対応した、若く、優れた人材の育成を図るために、各校の立地特性を活かした環境技術教育カリキュラムの充実及び開発など、共同提案校の緊密な連携による独創性のある教育プログラムの開発に取り組むことが求められます。

また、松江高専ほか 3 校共同で開発する環境教育プログラムの成果を、全国 55 国立高専で構成する「国立高等専門学校機構」のネットワークを活用し、目標を共有する他校へ拡大し、持続可能な社会を担うエンジニアを幅広く養成するという構想の進展も期待される取組です。